校友会の皆様へ

母校よりの「募金のお願い」へのご協力について

令和２年は、新型コロナウィルス感染拡大による世界の大混乱で始まった年でした。
そして、年の瀬を迎えました今も尚、厳しい状況が続いています。
大学はコロナ禍の中、学生への遠隔授業を基本に、コロナ対策をしっかりと講じた上で対面授業を実施しています。そして校友会そして後援会の助成協力を受けて、大学は学生への遠隔授業対策支援を、春秋のそれぞれ２度に渡り実施されました。
さらに今後対面授業が中心となっていく中、コロナ状況を鑑みながら、遠隔・対面授業のどちらにも対応すべく大学施設備品などの充実を図る予定をされています。

皆様のお手元に、京都外国語大学会報誌「ロゴス」が届いたと思います。
会報誌の中に「大学より募金のお願い」の冊子が同封されています。
上記の通り、校友会としてこの秋に、皆様からの大切な会費より学生への遠隔授業支援として大学に援助金をお渡しいたしました。
さらに、今後の学生修学支援や大学施設の拡充等の大学への支援としまして、会員の皆様個人としてのご寄付をお願いしたく存じます。

校友会会員の皆様も、各自このコロナ禍で大変な思いをされたことと存じますが、何卒、在学生そして京都外国語大学へのご支援を賜りますよう、心より深くお願い申し上げます。

皆様のご健康を願いつつ、令和３年が心安らかで安寧な年となります事を心よりお祈り申し上げます。

京都外国語大学校友会
会長　島谷　直見